

100年の創業精神を受け継ぎ グループ統括の新体制

富山トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長

品川 祐一郎 氏



1917年に県内で初めてタクシー事業を始められ、今年創業100周年を迎えられました。

創業者の忠蔵は日本で自動車走って間もない1917年10月1日、貸切自動車運輸事業の免許を富山県知事から取得し、タクシー事業を始めました。1932年から自動車の販売を行い、普及に取り組むとともに、自動車学校や自動車整備講習所を設立するなど、安全な自動車社会の構築に貢献してきたの

が、創業者の目指したところだと思います。もっとも、車との関わりはもっと古く、品川家は江戸時代から農業の傍ら、開墾・治水事業などで物資運搬の荷馬車を走らせていたようです。

現在、品川グループはトヨタ車、ダイハツ車の販売をはじめ、レンタカー、産業用車両など、自動車に関わる事業を展開しています。グループの会社を統括する株式会社品川グループ本社を、1月1日に設立

されました。

富山県の自動車保有は生産年齢人口1人当たり1台という恵まれたマーケットですが、将来的には人口減少による市場（保有）の縮小は避けられません。また、人手不足・採用難も深刻です。

統括会社は、グループ6社の総務・経理・人事などの管理業務を集約化し、将来的には板金・塗装・物流などの共通業務も集めて、スケールメリットを生かしながら生産性の向上を図っていくことを考えています。

今後を見据えての体制強化ですね。

グループ各社の現状と見通しはそれぞれ多少異なります。市場全体としては縮小が避けられないと思っていますが、一方女性ドライバーは増加しており、軽自動車は将来もそんなに減らないでしょう。カーリースや産業用も底堅い。今後は人工知能（AI）を使った自動運転など新しい技術が出てくると、特に技術陣は学ぶ時間が必要となります。

会社ごとに違う業況の変化に応じて、より必要なところにヒト・モノ・カネの経営資源を柔軟に配分していくため、今回のグループ本社を設立しました。人手不足・採用難の状況に対応し、働き方改革にも取り組んでいきます。

一人々の幸せと発展のため

ベースになっているのは、私が全社の社長を父から引き継いだ6年前に作った経営理念です。

元々、社是である「われわれは和をもって、誠実なサービスで信用を築き、愛社精神に徹しよう」という創業者の姿勢を大切にきて今日があります。私たちは付加価値サービス業ですから、信用を築くためには誠実な姿勢でサー

ビスを繰り返していくことでしか得られないと思います。

先輩方が築いてこられた信用の上に私たちがあり、それをさらに良いものにして次世代に引き継ぐため、「今までもこれからも、私たち品川グループは、自動車および自動車関連事業を通じて、関係するすべての人々の、幸せと発展に寄与していきます」という経営理念を打ち立てました。そして今回、C I（Corporate Identity）も制定しましたが、チェッカーフラッグをデザインしたマークは、過去・現在・未来を表し、右向き矢印で将来に向かって正しい方向につないでいく。先人やお世話になった方々への感謝と、将来への約束を込めています。

オールクルーの一体化

社長就任以来、どのようなことに取り組まれてこられましたか。

理念経営に着手しました。目的は何か、目指すべき姿、共通の価値観を作り、そこに向かってみんなでチームワークをとって取り組む。“和をもって”の創業の原点に尽きると思います。

私たちは同じ客船に乗っているという感覚に近いです。お客様を迎え、それぞれが持ち場の役割を果たし、私は立場上、船長の仕事をしています。船を降りたらそれぞれの生活や自由時間があるけれど、

乗っている間はルールを守らなければいけないし、途中嵐に遭うかもしれない、その時は一致団結しなければいけない。富山トヨタでは年に3回、オールクルーミーティングを開き、全社員の心をつにしています。

また、行動指針を昨年、作成しました。「チームワーク、誠実、貢献、感謝…」10項目について、目指すべき人物像、大切にしたい共通の価値観を明記しています。何かを選択して行動する際、この規範に基づいてもらいます。

人口減少、採用難という業界の厳しい現状に対して、船長としては、「感謝され、成長し…」という目的を示し、進む方向を決める。販売台数や利益はあくまでその結果だと思っています。

創業者が馬車から自動車に変わった時代は、今のリアルの世界からバーチャルの世界、IoTに変わるのと近い変化だったと思います。今が、ちょうど舵を切るタイミングです。

ホームページにはスタッフブログがあり、社長自身もSNSなどを使って積極的に発信されています。

自動車整備士を目指す人が10年前から半減し、国も取り組む社会問題になっています。私が数年前からPRに力を入れようと決めたのも、「業界の社会的地位を上げたい。国家的に必要とされている

仕事であることを広く知ってもらいたい。そして、社員を幸せにし、次世代からもたくさん志望してほしい」との思いからです。

また、モータースポーツに参戦していますが、技術陣のモチベーションアップのためです。昨年は、初代クラウンを復元する「レストアクラウン」を全社員が参加して完成させました。私も磨きましたし、営業や事務の人も磨くことができます。社員の融和は常に重要課題です。直接営業に結びつくものではありませんが、お互いの仕事を理解することにもなりますし、社是の「和をもって」や「愛社精神」、創業以来の思いにもつながると思って実施しました。

これらの取り組みはみな、創業の志と経営理念に基づいて、事業を将来へと引き継ぐため、車を通じて社員やお客様の幸せや業界の発展、地域経済の発展に貢献するための使命感からです。

最後に座右の銘を伺います。

過去の反省を踏まえて「熟慮漸行」です。じっくりと考え、着実に実行していこうと思っています。

会社概要

富山トヨタ自動車株式会社

創業：1917(大正6)年10月
設立：1942(昭和17)年10月
所在地：富山市千歳町2丁目5番26号
資本金：8,000万円
事業内容：自動車販売、自動車の整備・点検・修理・アフターサービス、損害保険代理店業務、ソフトウェア開発
従業員数：320名
売上高：145億2,171万円(2016年3月期)
総括会社：株式会社品川グループ本社
グループ社：ネットトヨタノヴェルとやま(株)、富山ダイハツ販売(株)、(株)トヨタレンタリース富山、トヨタL&F富山(株)、山室重機(株)
URL：http://toyota-dealers.jp/04101/

略歴

1970(昭和45)年8月、富山市生まれ。東京大学経済学部卒。93年(株)日本興業銀行に入行。99年取締役として富山トヨタ自動車(株)へ入社し、常務、代表取締役副社長を経て、2008年から社長。2017年1月(株)品川グループ本社を設立し社長に就任。



“心ひとつに”挑んだ「全国トヨタ サービス技術コンクール中部地区大会」で大応援団と一緒に。賞状を手に4月の全国大会出場を喜ぶ(昨年12月)